

例会報告
第336回 「第3回椎茸駒打ち体験」
佐賀市富士町小副川 (2024.3.10)

野外での活動はどうしても天気が大きく左右されます。しかし、団員の皆さんの日頃の精進の賜物か、青く澄み切った空のもと、無事、開催することができました。インフルエンザ等で何名かキャンセルもあったものの、この日は54名の皆さんに参加いただきました。

今回が3回目の駒打ち体験で、一応の区切りとしましたが、すでに過去、駒打ち体験に参加いただいた団員の皆さんも多く、高速ドリルを使っての原木への穴開けはお手のもの。子どもたちがどんどん穴を空けていく、その呑み込みの早さに感心させられました。全ての参加者の皆さんのご協力で予定より早く駒打ちを終了することができました。今回使用した椎茸菌は、過去2回の体験で使用した「115号」の新型「N115号」で、115号より長い期間椎茸が発生する優れたものだそうですが、結果はいかに…。

一方、試食コーナーでは、スタッフに加えてお母様方にも交代で協力いただき、3名体制で調理にかかりました。今回は2台のカセットガスコンロを用意していたのですが、火力が足らず、時間ばかりかかってしまい、全員がお腹いっぱいとははいきませんでした。申し訳なかったなあと反省しきり。それでも嫌な顔一つせず並んで待っていてくれた皆さんにただただ感謝、感謝……。さが科学少年団はスタッフも含めて全員がボランティア団員であり、お互いが助け協力し合って活動するからこそ、友情の輪が広がり、大きな事故もなく、楽しめる団体なんだ！ということを改めて実感しました。

また、最後のお楽しみ、椎茸収穫体験も、残念ながら椎茸が予想以上に成長しておらず断念。担当者としては試食に加えて申し訳ない気持ちと悔しい気持ちでいっぱいでした。それでも、団員の皆さんに「楽しかった！」「美味しかった！」いってもらい救われた気分になりました。

今後、講師の松原さん所有の林で、仮伏せ状態から井桁組みへの組み替え等、プロに管理していただきます。1年半以上かけて椎茸菌がどんどん榎木の中で広がっていきます。そして、いよいよ来年10月に入ると最終段階の合掌組みに組み直すと、いよいよ待望の椎茸の発生です。その頃、改めて今回オーナーになっていただいた皆様にはご案内を差し上げます。それまで楽しみにお待ちください。 参加者54名（文責：井上英史）





均等に穴をあけていくよ



ドリルの使い方はバッチリ



お父さん、一人でできるからね



お父さん・お母さんにも協力頂きました



美味しいシイタケよ出てきておくれ



お待ちかね 試食タイム



坂道をよいしょ、よいしょ



左：今回の原木 右：収穫できる原木